

分野名：団体育成・サークル活動

校区コミュニティの学びと実践

～地域のつながりによる大莞校区のコミュニティ活動の実践～

大木町ふるさと大莞活性化委員会 会長 東 一人

1. 大木町と公民館の紹介

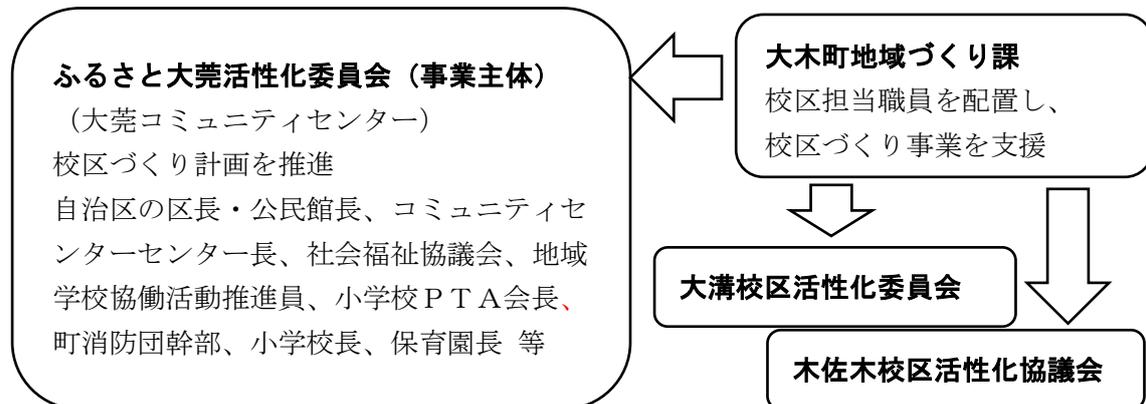
大木町は、人口 13,889 人で福岡県の南西部に位置し、筑後平野のほぼ中央にあり、町全体が標高 4～5 メートルのほぼ平坦な田園地帯となっている。また、町の総面積の約 14%を占める堀（クリーク）が、町全域に縦横無尽に張り巡らされており、その総延長は約 270 kmにおよび、日本屈指のクリーク地帯となっている。

町内には、40 の自治公民館があり、公民館活動を行っている。その活動を補完することを目的に 3 小学校校区でコミュニティ活動を実践している。

2. 事業の目的

本町では、人口減少社会を迎え、今後、自治区が担えない共助の力を補完するため、自治区を包括する校区でのコミュニティ活動を活性化し、持続可能な自治体経営（地域経営と行政経営）を進めることを目的としている。

3. 事業の主体



4. 連携・協力機関・団体等

各自治区長・公民館長、町職員、コミュニティセンター、社会福祉協議会、女性の会、地域学校協働活動推進員、小学校PTA、消防団、小学校、保育園等

5. 事業予算

歳入：地域づくり交付金 200 千円（町から）

6. 実施に至る経緯

平成 24 年に本活性化委員会を立ち上げ、主にふるさと大莞祭りの事務局を担当してきた。令和 3 年度からは、「大木町自治総合計画」が策定され、持続可能な自治体経営（地域経営と行政経営）を進めることを目指して、住民と行政が「町の将来像（目指す町の姿）」を共有し、協働することが求められるようになった。本会でも、持続可能なまちづくりを実現するために、校区住民がアイデアを出し合って校区づくり計画を策定し、令和 6 年度から新たに動き出し始めている。

7. 事業の内容

(1) ふるさと大莞祭り

毎年 8 月に開催。運営は校区主体、実行委員には P T A、先生、町職員、区長、公民館長等がメンバーとなり、子どもたちが中心となる祭りを開催。大莞校区全世帯からの協力金、企業や個人からの協賛金、子ども神輿の賽銭、P T A 主催の巨大鉄板焼きそば売上金などを運営費用に充てている。



(2) ゆうかり食堂（地域食堂）

令和 6 年度から毎月第 4 土曜日に実施。活性化委員会メンバーと地域のボランティアの方が中心となり、子どもと一緒にカレーを作り、食事のあとは地元出身の高校生によるレクリエーションと健康体操を行っている。



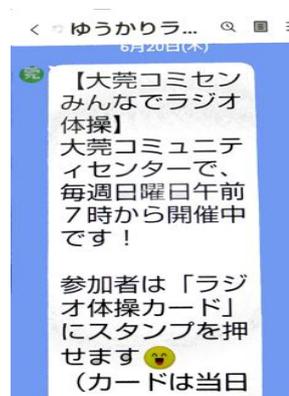
(3) 通学合宿

毎年 10 月に実施。大莞小 4～6 年生の希望する子どもたちが大莞コミュニティセンターで宿泊体験を行う。P T A が主体で行い、地域住民もボランティアとして参加し、子どもたちの料理や入浴、洗濯等の集団生活をサポートしている。



(4) 広報・ゆうかりライン (大莞校区公式LINE)

令和6年度から公式LINEの配信をスタート。
現在の登録者は250人(大莞校区の10.6%)で、随時情報を配信している。また、校区にゆうかり通信を配布するなど、多様な方法で情報を共有している。



8. 事業の成果

「将来こういう校区にしたい」と町民みんなで考えた将来像を基に具体的な取組を実行することができている。ふるさと大莞祭りのみではなく、様々な活動を活性化委員主体で地域の新たな人材と共に実施することができている。また、事業に携わった地域住民が別の事業でも関わったりするなど、コミュニティセンターを活用した新たな人の流れが生まれている。

9. 今後の課題

- 活動を知ってもらうことが大事なので、様々なツールを使い情報の格差をなくし、より多様な世帯に情報を共有する必要がある。
- わくわく感のある事業の創出ができるように提案、企画を積極的に行う環境づくりを進める必要がある。
- 世代間の融合と各種団体の協力体制を考えて、継続していく必要がある。

問合せ先

〒830-0416 福岡県三潴郡大木町大字八町牟田 255 番地 1

大木町図書・情報センター (地域づくり課)

TEL 0944-32-1047 FAX 0944-32-1183 E-mail : gakusyu@town.ooki.lg.jp